

令和3年3月3日

保護者の皆様

摂津市立味生小学校
校長 大崎 貴子

学校生活アンケートのまとめについて（報告）

平素は本校の教育活動に、ご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施いたしました「学校生活アンケート」の結果を集計いたしましたので、ご報告いたします。お忙しい中にもかかわらず、多くの保護者の皆様から貴重なご意見をいただくことができました。

味生小学校に通われているすべてのお子さんが、楽しく、充実した学校生活を送り、「あたたかい心とことばのあふれる学校」となるよう、アンケートの結果も踏まえ、今年度の取組みの反省と次年度に向けてさらに充実した教育活動を行っていけるよう、全教職員で論議を深めてまいります。

児童アンケートの結果の概要 回収率 89.5%

★学校生活と人間関係★

「学校では友達と仲良く過ごしていますか」「命の大切さや集団生活のルールについて、学んだことがありますか」「給食時間の決まりを守って、給食を食べていますか」などの質問には、90%以上の児童が「はい」と回答しています。これまでの取組みを通して、子どもたちにとって学校が楽しく、安心して学ぶことができる場所になり、友だちを大切に作る心が育ち、一つの目標に向かって協力して取り組んでいることを実感していることがうかがえます。さらに、集団生活のルールを学ぶことで、生活規律や学習規律が身につき落ち着いて学ぶことができています。

★生活習慣★

「『おはよう』『さようなら』『ありがとう』『ごめんなさい』などのあいさつがきちんとできていますか」では、約79%の児童が「できている」と答えています。社会生活のうえでとても大切なことです。小さい時からの指導（しつけ）ができているからこそだと思います。学校でもしっかりと指導していきたいと考えております。引き続き、ご家庭におかれましても、お子様の生活や態度について、ご指導をお願いいたします。

また、「台風や地震や火災など、身に危険がせまった時、どうしたらよいか教えてもらっていますか」の質問では、約95%の児童が「はい」と答えました。災害に備え自ら行動できる態度を身につけることは喫緊の課題です。「自分の身は自分で守る」「周りの人と助け合う」「最後まであきらめない」防災教育を一層進めてまいりますので、ご家庭でも、災害に備えてお子様と話し合っ

ていただくようお願いいたします。

★学力向上★

「先生たちは、教え方にいろいろな工夫をしていますか」「先生たちは、学習や取組みの中で努力した時、ほめたり、認めたりしてくれますか」などの質問で「はい」との回答が約90%でした。本校で取り組んでおります「学習指導要領に沿った、子どもたちが楽しみながら学び合う学校とお互いが協力し合いながら、意見を交換したり、話し合ったりする学習」の成果が現れてきたと考えます。しかし、「授業でわからないことがあるとき、先生に質問しやすいですか」の質問は、肯定的な回答が約69%でした。今年度、コロナ禍での学習活動を進める中で、質問しにくい状況が出てきていないかを検証し、子どもたちが質問しやすい学習環境を整え、適切な支援・指導ができるよう努めてまいります。

保護者アンケートの結果の概要 回収率 89.4%

「お子さんは、毎日楽しく登校している」「お子さんは、学校で友達と楽しく遊んでいる」「お子さんは、宿題をきちんとしている」「台風や地震などの場合の対応について、お子さんや保護者の皆様に知らされている」「運動会・林間学校・修学旅行などの学校行事に、お子さんが積極的に参加できている」の質問では、肯定的な回答が約90%の高い数値です。このことは、コロナ禍でもお子さんが楽しく、しっかり、学習や運動ができ、友達と楽しく過ごすことができていると評価いただいたものと考えております。

一方、「お子さんはテレビやゲーム、携帯・スマホの使い方についてルールを守っている」の質問では、肯定的な回答が63.1%です。一人1台の学習用端末が導入されたことも受け、様々な情報機器は子どもたちの生活に欠かせないものになっていると考えます。学校でも、再度約束を守って、安全に使うようにと指導したいと考えております。世間では、SNSを利用した事件も後を絶たないことを踏まえ、ご家庭でも約束の再確認と使い方のご指導をお願いいたします。

ほかに、保護者のみなさんとお子さんとの認識の差がある項目があります。「お子さんは睡眠時間を十分にとっている」は、保護者は84.6%、お子さんは63.3%です。早寝・早起きなどの生活リズムを整えることは、お子さんの健やかな成長のためにとても重要です。ご家庭でも、「睡眠」について話題にさせていただきたいと思います。また、「お子さんは、よく読書している(マンガや図鑑以外の本)」も、保護者は27.8%、お子さんは54.4%です。図書の授業などの決められた時間には読書をするが、休み時間やご家庭での自由時間にはあまり読書を行っていないことがわかります。読書は楽しいのはもちろんですが、言葉の量を増やし、速く、正確に読み取ることに役立ちます。図書室だよりの発行による読書への啓発や、休み時間に、今まで以上に図書室を利用し、たくさん本を借りて、読むように呼びかけてまいります。また、借りた本は、ご家庭に持ち帰って読むことができますので、ご家庭でも読書をすすめていただきますようお願いいたします。